

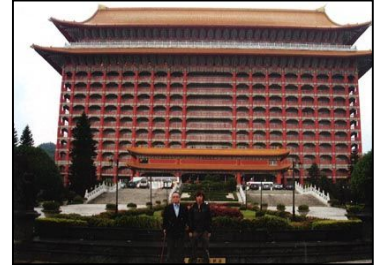
『臥龍梅』 歳便り

平成二十二年霜月



拝啓 日増しに寒気加わる季節となりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

10月28日から30日にかけて台湾に出張してまいりました。台北の鈴樽有限公司という有力なリカー販売会社が臥龍梅を取り扱ってくれることになり、販売促進のために開かれたお酒の会に出席したものです。朝3時半に車で家を出て、中部国際空港から10時発の中華航空151便で出発、現地時間の12時に台北着。そのままホテルにチェックイン。5時には鈴樽さんの社長、鈴江さんと奥様のキャサリンさんがホテルのラウンジで出迎えてくださいました。早速お酒の会の打ち合わせです。美人の奥様との気になる出会いをうかがったところ、カリフォルニアで知り合ってめでたく国際結婚で結ばれ、現在は10ヶ月になる男のお子さんにも恵まれたとのこと、ドラマのようなロマンチックな展開です。海外で初めての臥龍梅単独のお酒の会でしたが、パワーポイントで説明するように詳細な資料をご用意してくださってあり、感激いたしました。その後6時半から、台北市内の鮪屋「太巻寿司」さんで一日目のお酒の会がスタート。日本のお酒の会にも増して、若い方や女性の姿が目立ちました。まず私が日本語で説明し、その内容を鈴江さんが奥様に伝え、奥様から中国語でお客様に説明するという手順です。最初はどこまで理解してもらえるか心配でしたが、「臥龍梅はどうして他の日本酒と違ってアルコール臭さがなく、まろやかでフルーティなのですか」といった嬉しくなるような質問が寄せられました。まさに我が意を得たりという思いです。翌29日は鈴江社長さんに市内のリカーショップをご案内していただきました。日本酒の値段は日本での小売価格の約三倍ということで、こちらの所得水準を考え合わせるとかなり高価になりますが、日本酒自体が評価されてきているようですので、将来が期待されます。さて、その晩は宿泊先のシャングリラホテルにある日本料理店「いぶき」さんで6時半からお酒の会がスタートしました。台北市内でも有数の高級ホテルですが、店内には臥龍梅の四斗樽とのぼりが飾られ、接客係の女性は全員臥龍梅の半被を着用してくれて、まるで日本にいるような雰囲気です。こちらでも臥龍梅の評判は上々で、ことに純米吟醸の無濾過原酒が好評でした。最後には恒例のじゃんけん大会で盛り上がり、臥龍梅の半被や純米大吟醸の300ml壺が賞品として手渡されて大盛況で終わりました。二泊三日の短い訪問でしたが、何よりも台湾の皆さんのフレンドリーな対応に心打たれました。お世話になった鈴江さんと奥様、有難うございました。



左端 キャサリンさん
右端 鈴江社長さん



さて、今月はお待ちかね、富山県産五百万石を使った新米新酒、純米吟醸袋吊雫酒と無濾過生原酒をご案内いたします。どなた様もお見逃しなきよう！

向寒のおりから、どうぞご自愛ご専一に。

平成22年11月吉日

敬具
鈴木克昌